



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年4月10日 第1号

発行者：校長 菅野 定行

平成30年のスタートです。今年度も「実況中継」で学校の様子をお知らせいたします。

## 平成30年度 入学式 式辞より

ただいま入学を許可しました160名の新入生の皆さん、今君たちは晴れて石巻西高等学校の生徒として入学を認められました。おめでとう。また、今日まで限りない愛情を注ぎ、お子様の成長を見守り、支えてこられた保護者の皆様には、心よりお祝いを申し上げます。

本校は1985年に全日制普通科の男女共学校として設立された、創立34年目を迎える比較的若い学校です。伝統に縛られない自由な校風のもと、「ひとつ上」をスローガンに、地域に根ざした進学校として学校づくりを進めてまいりました。校訓である「敬愛」「探求」「進取」のもと、学んだ約七千名の卒業生は全国各地で活躍しています。

本校では開校以来、人権や多様性の尊重を基盤とした国際理解教育を推進しています。また、被災地に位置する学校として、全国各地の学校やNPO団体等と防災交流事業を行うとともに防災体験学習を取り入れ、将来地域の防災リーダーとなる人材の育成にも力を入れております。近年では「生徒が主体的に学ぶ授業づくり」を合い言葉に、教師と生徒とが互いにコミュニケーションをとる授業形態を積極的に取り入れ、主体的に学ぶ態度の育成に努めております。

そして本校では、学習だけでなく生徒会活動、学校行事や部活動において、自分たちで目標を設定し、企画を立て、運営する自主的な活動を推進しています。先ほど述べた防災や国際理解においても同様に、生徒たちが自主的に活動する姿が目立っています。新入生の皆さんも石巻西高校での学びを通して、国際的にも通用する豊かな見識を身につけた、新しい時代に貢献できる人物へと成長してください。

さて、新入生の皆さん、明日からの西高での生活にどのような思いを抱いているでしょうか。期待、不安、さまざまな思いがあるでしょう。そんな皆さんに次のことをお伝えしたいと思います。

高校では中学までと比べ、生徒一人一人が主体的に動くことを求められます。自ら学び、判断し、行動する。自ら積極的に他者と関わり、仲間を作り、ともに成長する。もちろん先生方は君たちのことを

熱心に指導してまいります。しかし、何でも手取り足取り教えてくれるわけではありません。始めのうちは丁寧に指導して下さるでしょうが、徐々に自分で動くことができるよう、君たちに任せていくはずで。小さな失敗は気にしないでください。すべてお膳立てされてミスなく過ごすより、失敗から学ぶことの方が何倍も大切なのです。そしてその方が君たちはたくましく成長してくれるはずで。君たちの自主性を尊重することは、三年後、君たちを一人前の社会人として世に送り出すために必要なアプローチだととらえてください。わからないことがあれば我々はいつでも相談に乗りますが、少しずつ自分で考え、行動できるようになってください。とにかく我々は君たちの高校生活を全力で支援します。そして、君たちが安心して生活できる学校づくりを行います。

保護者の皆様、本日は年度はじめのお忙しいところ、本校入学式にご出席いただき、誠にありがとうございます。ただいま申しあげた本校の教育活動にご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。お子様方にとって、この学校で過ごす三年間は一人前の大人として社会へ巣立つために、きわめて大切な時期であると考えます。一方、肉体的にも精神的にも発達を遂げる中で、さまざまな悩みや不安を抱く時期でもあります。生徒たちの健全な成長と豊かな個性をはぐくむとともに、生徒にとって安全で安心な環境を整えるためにも、学校と家庭とがそれぞれの役割を果たしながら、互いに連携してお子様方の成長を支援できますよう、重ねてお願いを申し上げます。

宮城県石巻高等学校 校長 菅野定行



